学校番号	414

令和２年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	改訂版　政治経済　（数研出版）						
副教材等	最新政治・経済資料集新版（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１８歳選挙権の導入を受けて、高校生にも主権者としての自覚が求められ、平和で民主的な社会の形成者の役割を将来果たしていくことが期待されています。社会からのそうした期待に誠実に応えられるように、しっかりと現代の政治・経済・国際関係などのしくみを学び、現在抱えている諸問題を理解し、課題を解決できる能力を身につけていってほしいと思います。（資料をしっかり読みこなし、問題点を見つけ、各自で問題解決の方法を考えて、発表してください。）

2　学習の到達目標

国際的な視野に立って民主主義の本質について理解させたうえで、現代の政治・経済・国際関係などについて客観的に認識させ、それらに関する諸問題を主体的に考察し、当面する諸課題の解決に向けて公正な判断力を養成し、良識ある公民として必要とされる公共的な能力および態度を育成する。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：思考・判断・表現	c：資料活用の技能	d：知識・理解
観点の趣旨	現代の社会にかかわる諸問題に対する関心を高め、当面する諸課題を追求する意欲や、民主的で平和な社会を実現するために参加・協力する態度を身につける。	現代の社会にかかわる事項から課題を見いだし、そこに潜む本質を広い視野から多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現させる。	現代の社会にかかわる諸資料を収集し、有用な情報を適切に取捨選択して、効果的に活用する技能を身につける。	現代の社会的事象にかかわる基本的諸問題についての知識を身につけ、課題解決の方法を理解させる。
評価方法	ワークシート レポート 授業観察	定期考査 ワークシート 授業観察	定期考査 ワークシート 授業観察	定期考査
	［主題学習］ 振り返りシート	［主題学習］ 授業での発表・報告	［主題学習］ 資料のまとめ	**［主題学習］** 授業内容のまとめ
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元（題材）の評価規準	評価方法
1学期	第1編　現代の政治	第１章　民主政治の基本原理と日本国憲法 第１節　民主政治の基本原理 1　政治と法 2　民主政治のあゆみ 3　民主政治の基本原理とその展開 4　政治体制の比較	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○ ○	(a. b. d) 法についての基本的な考え方を捉えながら、法の意義を理解する。 (a. b. c. d) 民主政治の成立過程をたどり、その意義を理解する。 (a. b. d) 基本的人権の確立までの歴史を概観しながら、人権保障の国際的展開を理解する。 (a. b. c. d) 民主主義の発展について把握するとともに、各国の政治体制について調べる。	・授業観察 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査

		第２節　日本国憲法と基本的人権 １　日本国憲法の基本的性格 ２　基本的人権の保障 ３　日本国憲法の平和主義	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ 	 ○ ○ ○	（a.b.d）日本国憲法の成立過程を調べながら、三大原理を理解する。 （a.b.c.d）基本的人権の保障をめぐる諸課題や新しい人権の理解を深める。 （a.b.d）憲法第九条をめぐる論点を整理し、平和のあり方に関心を高める。	・授業観察 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査
		第３節　日本の政治機構 １　国会のしくみと役割 ２　内閣と行政機構 ３　裁判所のしくみと人権保障 ４　地方自治のしくみと住民生活	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○ ○	日本国憲法下での立法・行政・司法のあり方について、国会（a.b.d）・内閣（a.b.d）・裁判所（a.b.c.d）等の政治機構の役割にふれながら考察する。 （a.b.c.d）地方自治の本旨にふれながら地方分権および住民の権利について考える。	・授業観察 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査
		第４節　政治参加と民主政治の課題 １　戦後政治と政党 ２　選挙制度のしくみ ３　世論と情報化社会	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○ ○	（a.b.c.d）戦後政治のあゆみをたどりながら、政党政治の推移・特質と課題を考える。 （a.b.c.d）日本の選挙制度のしくみを捉えながら、政党政治の意義を理解する。 （a.b.d）これまでの選挙結果を調べ、主権者側からの参政の仕方を考える。また世論の果たす役割を考察する。	・授業観察 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査
２学期		第２章　現代の国際政治 第１節　国際政治の動向 １　国際社会の特質 ２　国際社会と国際法 ３　国際社会の組織化 ４　戦後国際社会の展開 第２節　国際社会の課題と日本の役割 １　核兵器の廃絶と軍縮問題 ２　地域紛争と人種・民族問題 ３　日本の国際的地位と役割	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	（a.b.d）国際社会の成立過程を考察し、その特質を理解する。 （a.b.d）国際法の意義を理解し、国内政治と国際政治の違いを把握する。 （a.b.d）国際連合の役割・課題と解決策について理解する。 （a.b.d）戦後の国際政治の歴史をたどりながら、冷戦後の国際社会の動向を把握し、冷戦後の世界の変化を冷戦前と比較しながら理解する。 （a.b.d）核廃絶と軍縮に国際社会はどう対処すべきか、その課題を冷戦期と冷戦後を比較しつつ考える。 （a.b.d）戦後の民族・地域紛争について調べ、その解決のための国際的な取り組みのあり方を考える。 （a.b.c.d）複雑な国際関係を考察しながら、安全保障や国際平和への日本の貢献の仕方を考える。	・授業観察 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査
	第２編　現代の経済	第１章　現代経済のしくみと特質 第１節　経済活動の意義と経済体制 １　人間と経済活動 ２　資本主義経済の発展と変容 ３　経済活動の主体	 ○ ○ ○		 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	（a.c.d）経済活動のしくみとその意味を考える。 （a.c.d）資本主義経済の特徴を、社会主義経済と比較しながら理解しその発展と変容の歴史をたどる。 （a.c.d）国民経済を構成する家計・企業・政府の働きと役割、それらの関わりについて理解する。とくに株式会社のしくみを所有と経営の両面から理解し、企業の社会的責任について考える。	・授業観察 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査

		第２節　現代経済のしくみ １　市場経済のしくみ ２　物価の動向 ３　国民所得と経済成長 ４　財政のしくみと租税 ５　金融のしくみと働き	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	（a．c．d）需要と供給の関係から市場を理解するとともに、独占の弊害を排除する措置について考える。 （a．c．d）物価変動要因を理解し、物価変動が経済に及ぼす影響を考える。 （a.b.c.d）国民所得の構成や景気変動・経済成長について、外国と比較して日本の現状を把握する。 （a．c．d）財政の役割・租税の意義を理解しその使途について考える。日本の財政の現状を調べ、公債残高増大が及ぼす影響を考える。 （a．c．d）通貨制度と金融の役割・日本銀行の金融政策・金融自由化などを理解する。	・授業観察 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査
		第３節　日本経済と福祉の向上 １　戦後日本経済のあゆみ ２　中小企業と農業・食料 ３　公害防止と環境保全 ４　消費者問題と消費者保護 ５　労使関係と労働市場 ６　少子高齢社会と社会保障	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	（a．c．d）戦後日本経済のあゆみと産業構造の変化をたどり、日本経済の課題を考える。 （a．c．d）中小企業が日本経済に果たしている役割を理解し、大企業との違いを把握する。日本の農業が直面している諸課題を理解する。 （a．c．d）産業公害と都市公害への対策の歴史を調べ、とその原則について考える。 （a.b.c.d）消費者問題の現状や消費者運動、関連法の整備について調べる。 （a.b.c.d）労働三法と労働基本権の内容とその意義を理解する。 （a.b.c.d）日本の社会保障制度を体系的に把握し、問題点と課題を考える。	・授業観察 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査
		第２章　国民経済と国際経済 第１節　国際経済の動向 １　貿易と国際収支 ２　国際経済のしくみ 第２節　国際経済の課題と国際協力 １　地球環境と資源・エネルギー問題 ２　発展途上国の経済と経済協力 ３　国際経済における日本	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	（a．c．d）・国際収支の基本的構成を把握し、経済摩擦の要因としての不均衡が生まれる原因を理解する。為替相場のメカニズムを把握し、円高・円安が国内産業に及ぼす影響を理解する。 （a．c．d）国際通貨・貿易体制の変遷をたどり、地域的経済統合やグローバリゼーションにともなう国際的な移動について調べ、それが国際経済に及ぼす影響を考察する。 （a．c．d）化石燃料・原子力発電・新エネルギーの違いと利点・問題点を理解し、地球規模の環境問題を考える。 （a．c．d）・先進国と発展途上国の経済格差や新興国の台頭を把握しつつ、格差是正のための経済協力について考える。 （a.b.c.d）日本経済の国際化を見据え、貿易・経済摩擦や南北問題の解決に向けて、日本が果たすべき役割について考える。	・授業観察 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査

3学期	第3編　現代社会の諸課題	第１節　現代日本の諸課題 １　少子高齢社会と社会保障 ２　地域社会の変貌と住民生活 ３　雇用と労働をめぐる問題 ４　産業構造の変化と中小企業 ５　農業と食料問題 ６　大規模自然災害とエネルギー問題	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	（a.b.c.d）以下に掲げる６つの現代社会の諸課題について、それぞれ政治・経済の関連する様々な視点から考察し、客観的な立場に立って解決の方策を考える。	・授業観察 ・発問評価 ・定期考査
		第２節　国際社会の諸問題 １　地球環境と資源・エネルギー問題 ２　国際経済格差の是正と国際協力 ３　人種・民族問題と地域紛争 ４　国際社会における日本の立場と役割	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	（a.b.c.d）以下に掲げる国際社会の４つの諸問題の探求・調査の結果をもとに、それぞれ討論・発表・レポートなどの活動によって、自分の意見を表現する。	・授業観察 ・発問評価 ・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。